

令和2年産 紀南の梅産地情報

20/05/25

1. 小梅・古城は5月中旬から出荷が始まっているが、4月下旬から5月上旬にかけて降雨が少なく小玉傾向で推移し、現在終盤に向かっている。南高は早場では5月下旬から出荷が始まり、ピークは6月6日の梅の日頃からを予想している。



2. 5月21日の定点調査では、南高の着果数は前年・平年より少なかった。

■ 定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	令和2年				令和元年		平年（10年間）	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
南 高	6.3%	17果	51%	57%	13%	34果	10.2%	30果

3. 5月21日時点の南高の実肥りは、33.7mmと前年・平年並みとなっている。
4. 5月25日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 515トﾝ（前年比 88%、平年比 62%）
古城 286トﾝ（前年比 78%、平年比 47%）、南高 16,690トﾝ（前年比 78%、平年比 75%）、
在来系 294トﾝ（前年比 81%、平年比 56%）を見込んでいる。
生産量は今後の気象等により変動することがある。
5. 結実後の気温は、4月下旬は平年より低くなったが、5月上旬以降は平年よりやや高くなった。降水量は、4月下旬は降雨がなく、5月上旬は平年より少なかったが、5月中旬に平年を上回る降雨があった。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	2年	元年	30年	平年	2年	元年	30年	平年
4月下旬	14.8	17.7	17.6	16.4	0.0	96.0	42.0	52.0
5月上旬	19.0	17.0	17.5	18.3	15.5	15.0	196.5	68.7
5月中旬	19.8	19.4	19.6	19.1	58.5	14.5	36.5	53.1

南紀白浜気象データより